



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第28巻
第11号) 編集後記・購読要項・投稿
規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第28巻第11号) 編集後記・購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要 1982, 28(11): 1450-1450

ISSUE DATE:

1982-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/123180>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

Vol. 28, No. 11 ACTA UROLOGICA JAPONICA November 1982

泌尿器科紀要

第28巻 第11号 1982年11月

わが国における睾丸悪性新生物による死亡の動向……………	桐山 奮夫・吉田 修……………	1337
ウィスター系ラットにみられた自然発生尿路上皮腫瘍……………	竹内 秀雄・ほか……………	1345
単純性腎嚢胞液中への amikacin の移行について		
—特に substrate-labeled fluorescent immunoassay		
法による検討……………	大川 光央・ほか……………	1349
単純性腎嚢腫の治療経験		
—おもに腎嚢腫穿刺術について……………	辻橋 宏典・ほか……………	1357
上部尿路結石症の検討		
第1報: 腎結石手術および残石に関して……………	矢崎 恒忠・ほか……………	1365
上部尿路結石症の検討		
第2報: 尿管結石手術の臨床的観察……………	矢崎 恒忠・ほか……………	1375
慢性腎不全患者の免疫態に関する研究		
第2報: グアニジン化合物による免疫能抑制効果について……………	森川 洋二……………	1381
膀胱癌患者の細胞性免疫能に関する研究		
第8報: 患者末梢血リンパ球の ADCC 活性について……………	西尾 正一・ほか……………	1387
外来患者における血尿の臨床統計……………	青木 正治・熊本 悦明……………	1393
大分泌尿器科病院における TUR 732 例の経験および		
灌流液使用量による血清 Na 値の簡易補正法に関する検討 ……	内田 豊昭・ほか……………	1401
異常血管に起因する先天性水腎症の5例……………	大西 克実・ほか……………	1407
同一腎に発生した腎嚢胞と腎腫瘍の1例……………	藤永 卓治・ほか……………	1413
異所性骨形成を伴った膀胱原発未分化癌の1例……………	湯下 芳明・ほか……………	1419
左睾丸に原発したと思われる両側睾丸の悪性リンパ球性リンパ腫		
(リンパ肉腫)の1例と本邦におけるその28症例の統計的考察……………	三国 友吉・ほか……………	1427
両側精上皮腫の3例……………	藤本 佳則・ほか……………	1437



Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.

Department of Urology, Faculty of Medicine

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学

禁帯出

到着後 1ヶ月間

編 集 後 記

国際泌尿器科学会が9月5—10日、サンフランシスコ市で開催され、日本からも多数の参加者があり、また発表も活発におこなわれた。パーティーで「日本人の多いことどうだ。車も日本、時計もカメラもTVも、そして学会も日本か。」と囁いているのをきいたが、そんなやっかみ半分のたわごとなど気にしないで今後もしどし参加すればよい。

わが国の泌尿器科学は単なる泌尿器外科学ではなく、範囲の広い奥行の深い学問体系が確立されつつあるのである。戦後米国から学んだ泌尿器科学も、いまでは日本独自のものとなり統合された学問および診療体系は世界諸国の中でも第一級の位置を占めるようになったといえる。

さらなる着実な前進を祈りつつ、また決意も新たに帰国の途についた次第。

(O. Y.)

購 読 要 項 (1983年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1982年6月改定)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ロ) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
- (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
- (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。
- (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例：山田^{1,3,7}, 田中ら^{1,3-10})によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲 載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療器具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次
園田 孝夫

前川 正信
友吉 唯夫

宮崎 重
桐山 資夫(副主幹)
新谷 浩
吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第28巻 第11号

1982年11月25日 印刷

1982年11月30日 発行

発行 吉田 修

顧問 加藤 篤 二

発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入